

# 濃度計量証明書

AJ-24021701

2024年3月4日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川1町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年2月17日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	110	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	120	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	150	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	78	vol ppm	
補正濃度 *	94	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	98	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 24021701 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2024年2月17日 9時42分 ~ 11時10分		
測定者名		廣田・丸山		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 13.2 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.002未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 13.2 %)		100	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		110	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 13.5 %)		120	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		150	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 13.5 %)		78	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		94	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		98	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		3.3	24.9	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		2.3	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39100	排ガス流速 (m/s)	8.3
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	33800	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	163	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	13.8	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	13.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>t</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点半径 R = 0.813 m	
		<p>A·D·E·H = 0.866R                  B·C·F·G = 0.500R                  O = 中心</p>		

# 特定濃度計量証明書

AD-24040901 (1/2)

2024年 5月17日

株式会社 ジャパンクリーン

様



特定計量証明事業認定番号 N-0063-01  
特定計量証明事業登録番号 第41044号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 8704号  
柳田 聖

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年4月9日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ダイオキシン類	実測濃度 4.5	ng/m <sup>3</sup>	JIS K 0311(2020)
	補正濃度 * 4.7	ng/m <sup>3</sup>	
	毒性等量 * 0.033	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

# 濃度計量証明書

AJ-24040901-3

2024年 5月17日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第42711号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町 北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年4月9日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	2.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	2.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	2.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	2.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	(0.03)	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	(0.03)	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 24040901 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン												
発生施設名	廃棄物焼却炉												
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13												
測定年月日・時刻	2024年4月9日		10時41分 ~ 13時00分										
測定者名	丸山・村田・林												
測定項目	測定結果	基準値	単位										
全水銀実測濃度 (Os = 12.0 %)	2.5	—	μg/m <sup>3</sup>										
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	2.5	50	μg/m <sup>3</sup>										
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.0 %)	2.5	—	μg/m <sup>3</sup>										
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	2.5	—	μg/m <sup>3</sup>										
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.0 %)	(0.03)	—	μg/m <sup>3</sup>										
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	(0.03)	—	μg/m <sup>3</sup>										
(以下余白)													
湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38700	排ガス流速 (m/s)	8.3										
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30700	稼働時間 (h/日)	24										
排ガス温度 (°C)	158	焼却能力 (kg/h)	1550										
排ガス水分量 (%)	20.6	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—										
排ガス酸素濃度 (%)	13.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)										
排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)										
測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup>											
測定条件	測定点断面	測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>											
		測定点半径 R = 0.813 m											
		単位 : μg/m <sup>3</sup> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>検出下限</th> <th>定量下限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>粒子状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>全水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> </tbody> </table>		検出下限	定量下限	ガス状水銀	0.03	0.10	粒子状水銀	0.03	0.10	全水銀	0.03
	検出下限	定量下限											
ガス状水銀	0.03	0.10											
粒子状水銀	0.03	0.10											
全水銀	0.03	0.10											
全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。													

# 濃度計量証明書

AJ-24040901-2

2024年 5月17日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年4月9日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	110	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	140	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	150	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	83	vol ppm	
補正濃度 *	92	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	19	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 24040901 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2024年4月9日 10時41分 ~ 15時20分		
測定者名		丸山・村田・林		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 11.8 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.4 %)		110	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		110	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 12.5 %)		140	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		150	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 12.5 %)		86	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		92	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		19	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		0.60	24.3	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.42	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38700	排ガス流速 (m/s)	8.3
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30700	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	158	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	20.6	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	13.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
	<p>測定点断面</p>  <p>A·D·E·H = 0.866R          B·C·F·G = 0.500R          O = 中心</p>			

# 濃度計量証明書

AJ-24061401

2024年6月25日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年6月14日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	290	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	260	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	170	vol ppm	
補正濃度 *	160	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	140	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積



指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 24061401 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2024年6月14日 10時07分 ~ 11時45分		
測定者名		丸山・林		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 11.0 %)		0.001	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.1 %)		110	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 11.2 %)		290	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		260	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 11.2 %)		170	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		160	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		140	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		4.7	25.7	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		3.1	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39300	排ガス流速 (m/s)	8.6
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32000	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	172	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	18.7	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	13.0	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>				

# 濃度計量証明書

AJ-24080601-2

2024年8月22日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北南田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年8月6日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	3.6	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	3.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	3.6	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	3.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 24080601 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2024年8月6日	10時41分 ~ 13時18分	
測定者名	大森・林		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	3.6	—	μg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	3.7	50	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	3.6	—	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	3.7	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	ND	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	ND	—	μg/m <sup>3</sup>
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39600	排ガス流速 (m/s)	8.7
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	31400	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	174	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	20.6	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	13.4	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定条件	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>												
		測定点断面	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup> 測定点半径 R = 0.813 m												
	<p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p>		単位 : μg/m <sup>3</sup>												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>検出下限</th> <th>定量下限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>粒子状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>全水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> </tbody> </table>		検出下限	定量下限	ガス状水銀	0.03	0.10	粒子状水銀	0.03	0.10	全水銀	0.03	0.10
	検出下限	定量下限													
ガス状水銀	0.03	0.10													
粒子状水銀	0.03	0.10													
全水銀	0.03	0.10													
	<p>全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度                  各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。                  各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。</p>														

# 濃度計量証明書

AJ-24080601-1

2024年 8月22日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年8月6日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	99	vol ppm	
補正濃度 *	98	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	120	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	120	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	75	vol ppm	
補正濃度 *	78	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	45	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 24080601 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2024年8月6日		10時41分 ~ 13時20分	
測定者名	大森・林			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 11.7 %)	0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.9 %)	99	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	98	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.4 %)	120	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	120	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.4 %)	75	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	78	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	45	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	1.4	26.1	m <sup>3</sup> /h	
実測 K 値	0.95	17.5 (K 値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39600	排ガス流速 (m/s)	8.7
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	31400	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	174	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	20.6	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	13.4	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
		測定点半径 R = 0.813 m		
<p>測定点断面</p> <p>A · D · E · H = 0.866R          B · C · F · G = 0.500R          O = 中心</p> <p>測定孔</p>				

# 濃度計量証明書

AJ-24101201

2024年10月23日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年10月12日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	130	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	110	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	110	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	71	vol ppm	
補正濃度 *	69	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	5	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 24101201 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン				
発生施設名		廃棄物焼却炉				
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13				
測定年月日・時刻		2024年10月12日		9時57分 ~ 11時15分		
測定者名		丸山・大森				
測定項目		測定結果		基準値		
ばいじん実測濃度 (Os = 13.0 %)		0.001未満		-		
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.002未満		0.15		
窒素酸化物実測濃度 (Os = 13.5 %)		100		-		
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		130		250		
塩化水素実測濃度 (Os = 11.7 %)		110		-		
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		110		700		
塩化水素実測濃度 (Os = 11.7 %)		71		-		
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		69		-		
硫黄酸化物濃度		5		-		
硫黄酸化物排出量		0.17		24.9		
実測 K値		0.11		17.5 (K値)		
(以下余白)						
測定条件	湿り排ガス量 (m³/h)	39400	排ガス流速 (m/s)	8.3		
	乾き排ガス量 (m³/h)	32300	稼働時間 (h/日)	24		
	排ガス温度 (°C)	162	焼却能力 (kg/h)	1550		
	排ガス水分量 (%)	18.0	炉容積 (m³)	-		
	排ガス酸素濃度 (%)	15.3	硫黄分 (%)	-	窒素分 (%)	-
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 (%)	-	水分 (%)	-
測定位置及びダクトの形状寸法・測定点		煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>		
				測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>		
				測定点半径 R = 0.813 m		
測定点断面		<p> <math>A \cdot D \cdot E \cdot H = 0.866R</math>  <math>B \cdot C \cdot F \cdot G = 0.500R</math>                      O = 中心                 </p>				

# 濃度計量証明書

AJ-24121001-2  
2024年12月19日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年12月10日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	6.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	5.8	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	6.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	5.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	(0.03)	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	(0.03)	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$  : 0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。



指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 24121001 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2024年12月10日	10時25分 ~ 12時58分	
測定者名	大森・柏倉		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 11.6 %)	6.0	—	μg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	5.8	50	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 11.6 %)	6.0	—	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	5.7	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 11.6 %)	(0.03)	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	(0.03)	—	μg/m <sup>3</sup>
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39400	排ガス流速 (m/s)	8.6
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	33200	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	166	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	15.8	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	12.6	硫黄分 (%)	—
排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 (%)	—
		窒素分 (%)	—
		水分 (%)	—

測定位置及びダクトの形状寸法・測定点

煙突高 H<sub>0</sub> = 25.0 m

吐出口断面積 A = 2.074 m<sup>2</sup>

測定点断面積 A<sub>1</sub> = 2.074 m<sup>2</sup>

測定点半径 R = 0.813 m

単位 : μg/m<sup>3</sup>

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度  
 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-24121001-1  
2024年12月19日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川(町)北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2024年12月10日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	120	vol ppm	
補正濃度 *	110	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	200	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	190	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	120	vol ppm	
補正濃度 *	120	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	26	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考: \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>: 0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 24121001 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2024年12月10日 10時25分 ~ 13時00分		
測定者名		大森・柏倉		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 11.2 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.6 %)		120	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		110	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 11.9 %)		200	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		190	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 11.9 %)		120	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		120	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		26	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		0.88	25.3	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.60	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39400	排ガス流速 (m/s)	8.6
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	33200	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	166	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	15.8	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	12.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> =	25.0 m	吐出口断面積 A =
			測定点断面積 A <sub>1</sub> =	2.074 m <sup>2</sup>
			測定点半径 R =	0.813 m
<p>測定点断面</p> <p>A · D · E · H = 0.866R B · C · F · G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>				

# 濃度計量証明書

AJ-23021401

2023年2月24日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

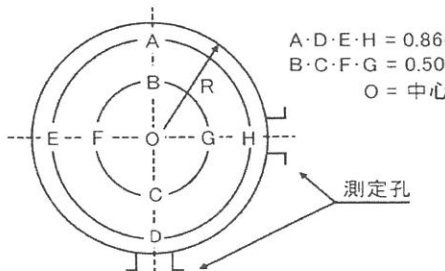
事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年2月14日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.056	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.062	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	110	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	120	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	68	vol ppm	
補正濃度 *	76	vol ppm	
硫黄酸化物	54	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 23021401 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2023年2月14日		10時08分 ~ 12時05分	
測定者名	林・鈴木(奎)			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 12.8 %)	0.056	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.062	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.4 %)	100	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	100	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.0 %)	110	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	120	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.0 %)	68	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	76	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	54	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	1.5	24.6	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	1.1	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	37300	排ガス流速 (m/s)	8.0
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	29500	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	167	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	21.0	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.3	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
	<p>測定点断面</p>  <p>A · D · E · H = 0.866R B · C · F · G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>			

# 特定濃度計量証明書

AD-23041101 (1/2)

2023年5月15日

株式会社 ジャパンクリーン

様



特定計量証明事業認定番号 N-0063-01  
特定計量証明事業登録番号 第41044号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 8704号

柳田 聖



貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年4月11日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ダイオキシン類	実測濃度 3.9	ng/m <sup>3</sup>	JIS K 0311(2020)
	補正濃度 * 3.9	ng/m <sup>3</sup>	
	毒性等量 * 0.043	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

# 濃度計量証明書

AJ-23041101-3

2023年5月15日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年4月11日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	1.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	1.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	1.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	1.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.15	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.15	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0℃、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の”ND”は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

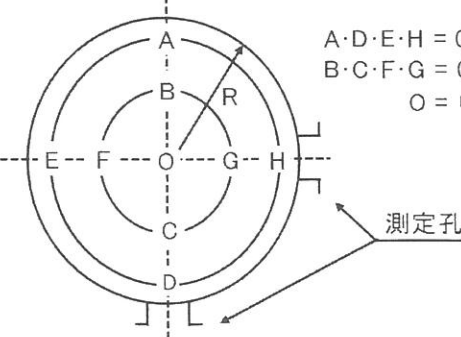
計量証明番号 AJ - 23041101 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2023年4月11日	9時38分 ~ 12時42分	
測定者名	丸山・内山・鈴木(奎)		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 12.0 %)	1.7	—	µg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	1.7	50	µg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.0 %)	1.5	—	µg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	1.5	—	µg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.0 %)	0.15	—	µg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	0.15	—	µg/m <sup>3</sup>
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38000	排ガス流速 (m/s)	8.4
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30800	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	180	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	18.7	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	12.5	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> =	25.0 m	吐出口断面積 A =	2.07 m <sup>2</sup>
	測定点断面		測定点断面積 A <sub>1</sub> =	2.07 m <sup>2</sup>
			測定点半径 R =	0.813 m

単位 : µg/m<sup>3</sup>



$A \cdot D \cdot E \cdot H = 0.866R$   
 $B \cdot C \cdot F \cdot G = 0.500R$   
 O = 中心

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度

各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。



# 濃度計量証明書

AJ-23041101-2

2023年 5月15日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年4月11日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	110	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	110	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	110	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	68	vol ppm	
補正濃度 *	68	vol ppm	
硫酸酸化物	29	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup> : 0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 23041101 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2023年4月11日 9時38分 ~ 14時55分		
測定者名		丸山・内山・鈴木(奎)		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 11.7 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.0 %)		110	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		110	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 12.0 %)		110	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		110	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 12.0 %)		68	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		68	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		29	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		0.90	25.9	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.61	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38000	排ガス流速 (m/s)	8.4
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30800	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	180	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	18.7	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	12.5	硫黄分 (%)	— (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 (%)	— (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.07 m <sup>2</sup>
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.07 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
	<p>測定点断面</p>  <p>A · D · E · H = 0.866R          B · C · F · G = 0.500R          O = 中心</p>			

# 濃度計量証明書

AJ-23061201  
2023年6月19日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年6月12日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	160	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	130	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	83	vol ppm	
硫黄酸化物	87	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)
(以下余白)			

備考： \* 計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup> : 0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 23061201 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2023年6月12日 9時56分 ~ 11時30分		
測定者名		丸山・大森・河田		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 11.5 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.5 %)		100	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 10.0 %)		160	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		130	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 10.0 %)		100	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		83	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		87	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		2.9	25.7	m <sup>3</sup> /h
実測 K 値		1.9	17.5 (K 値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39400	排ガス流速 (m/s)	8.6
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32900	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	171	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	16.7	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	10.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.07 m <sup>2</sup>	
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.07 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
		<p>A · D · E · H = 0.866R B · C · F · G = 0.500R O = 中心</p>		

# 濃度計量証明書

AJ-23080801-2

2023年9月1日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年8月8日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	2.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	2.6	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	2.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	2.6	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 23080801 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2023年8月8日	10時10分 ~ 12時25分	
測定者名	丸山・林		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 11.9 %)	2.7	—	μg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	2.6	50	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 11.9 %)	2.7	—	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	2.6	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 11.9 %)	ND	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	ND	—	μg/m <sup>3</sup>
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39300	排ガス流速 (m/s)	8.7
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30700	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	177	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	21.7	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	11.9	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)

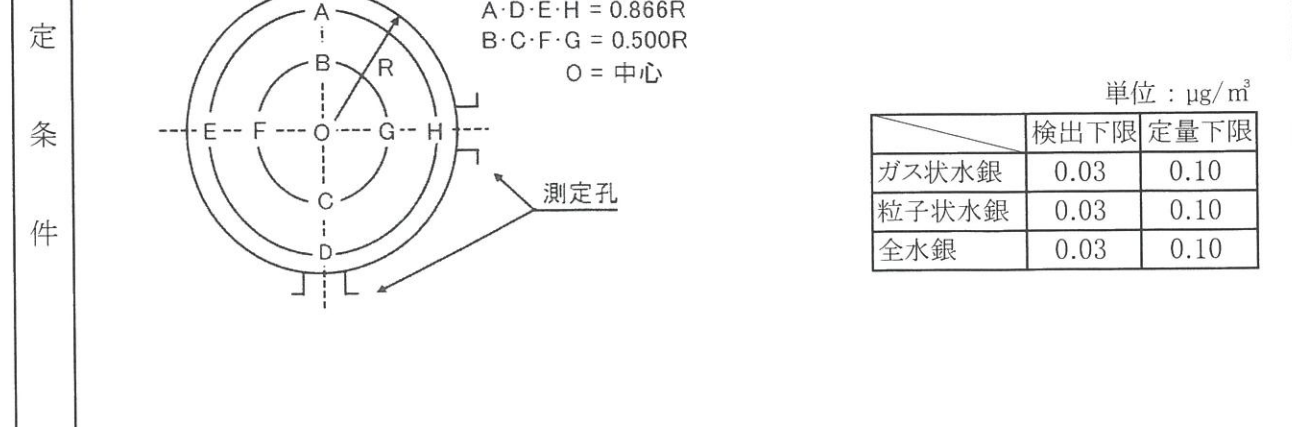
測定位置及びダクトの形状寸法・測定点

煙突高  $H_0 = 25.0$  m

吐出口断面積  $A = 2.074$  m<sup>2</sup>

測定点断面積  $A_1 = 2.074$  m<sup>2</sup>

測定点半径  $R = 0.813$  m



単位: μg/m<sup>3</sup>

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度

各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-23080801-1

2023年8月17日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年8月8日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	130	vol ppm	
補正濃度 *	130	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	69	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	68	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	42	vol ppm	
補正濃度 *	41	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	40	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 23080801 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2023年8月8日 10時10分 ~ 12時25分		
測定者名		丸山・林		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 11.9 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.9 %)		130	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		130	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 11.8 %)		69	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		68	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 11.8 %)		42	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		41	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		40	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		1.2	26.2	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.83	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39300	排ガス流速 (m/s)	8.7
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30700	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	177	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	21.7	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.9	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積A <sub>i</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点半径 R = 0.813 m	
		<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>		



# 濃度計量証明書

AJ-23101601

2023年10月23日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号

野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年10月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	120	vol ppm	
補正濃度 *	130	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	290	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	290	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	170	vol ppm	
補正濃度 *	180	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	95	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ-230101601 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2023年10月16日 9時56分 ~ 11時35分		
測定者名		丸山・河田		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 12.8 %)		0.001	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.002	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.9 %)		120	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		130	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 12.1 %)		290	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		290	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 12.1 %)		170	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		180	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		95	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		3.0	25.2	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		2.0	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39800	排ガス流速 (m/s)	8.6
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	31200	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	163	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	21.8	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	15.1	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点半径 R = 0.813 m	
	<p>測定点断面</p>  <p>A・D・E・H = 0.866R          B・C・F・G = 0.500R          O = 中心</p>			

# 濃度計量証明書

AJ-23120601-2

2023年12月19日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年12月6日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	0.93	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	1.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.93	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	1.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 23120601 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2023年12月6日		10時47分 ~ 13時00分
測定者名	丸山・岩谷		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 12.8 %)	0.93	—	μg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	1.0	50	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.8 %)	0.93	—	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	1.0	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.8 %)	ND	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	ND	—	μg/m <sup>3</sup>
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	37400	排ガス流速 (m/s)	8.1
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	28900	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	167	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	22.8	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	9.7	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)

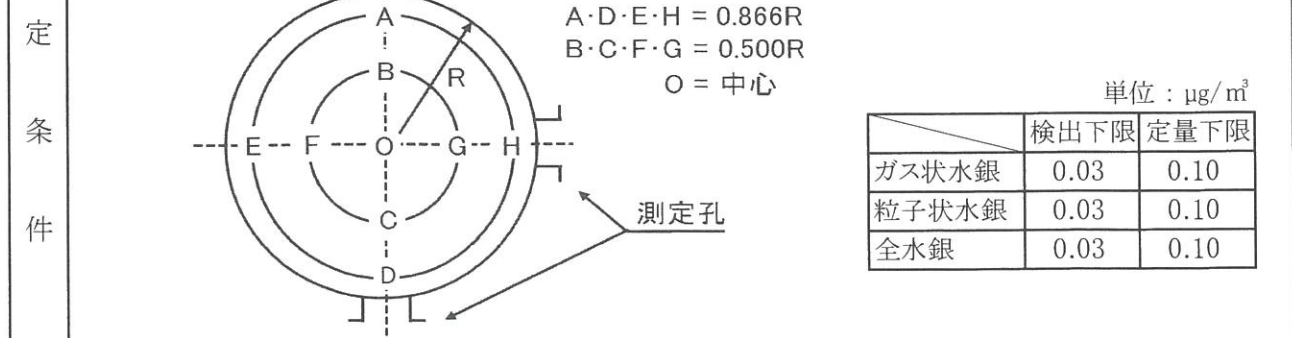
測定位置及びダクトの形状寸法・測定点

煙突高  $H_0 = 25.0$  m

吐出口断面積  $A = 2.074$  m<sup>2</sup>

測定点断面積  $A_1 = 2.074$  m<sup>2</sup>

測定点半径  $R = 0.813$  m



全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度

各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-23120601-1

2023年12月19日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北岡田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2023年12月6日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	120	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	140	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	160	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	87	vol ppm	
補正濃度 *	98	vol ppm	
硫黄酸化物	43	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 23120601 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2023年12月6日 10時47分 ~ 13時00分		
測定者名		丸山・岩谷		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 12.4 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.002未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.8 %)		110	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		120	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 13.0 %)		140	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		160	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 13.0 %)		87	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		98	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		43	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		1.3	24.6	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.90	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	37400	排ガス流速 (m/s)	8.1
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	28900	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	167	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	22.8	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	9.7	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.2	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
	<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p>			

# 濃度計量証明書

AJ-22021801  
2022年2月22日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年2月18日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.004	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.004	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	98	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	100	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	120	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	64	vol ppm	
補正濃度 *	74	vol ppm	
硫黄酸化物	22	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup> : 0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22021801 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2022年2月18日		9時53分 ~ 11時30分	
測定者名	丸山・大森			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 13.0 %)	0.004	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.004	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.9 %)	98	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	100	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.3 %)	100	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	120	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.3 %)	64	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	74	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	22	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	0.72	24.8	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	0.51	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38200	排ガス流速 (m/s)	8.2
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32400	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	166	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	15.2	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	14.5	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
測定点断面		測定点半径 R = 0.813 m		



# 特定濃度計量証明書

AD-22041601 (1/2)

2022年 5月 13日

株式会社 ジャパンクリーン

様



特定計量証明事業認定番号 N-0063-01  
特定計量証明事業登録番号 第41044号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 8704号  
柳田 聖 司

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年4月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ダイオキシン類	実測濃度 17	ng/m <sup>3</sup>	JIS K 0311(2020)
	補正濃度 * 17	ng/m <sup>3</sup>	
	毒性等量 * 0.22	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

# 濃度計量証明書

AJ-22041601-3

2022年 5月13日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年4月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	5.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	5.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	3.9	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	4.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	1.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	1.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0℃、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

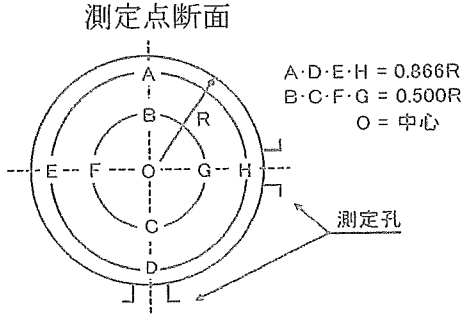
指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22041601 - 1/4

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン	
発生施設名		廃棄物焼却炉	
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13	
測定年月日・時刻		2022年4月16日 9時53分 ~ 14時25分	
測定者名		丸山・内山・大森	
測定項目		測定結果	基準値
全水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)		5.0	—
全水銀補正濃度 (On = 12 %)		5.0	50
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)		3.9	—
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)		4.0	—
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)		1.0	—
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)		1.0	—
(以下余白)			

測	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39200	排ガス流速 (m/s)	8.5
定	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32500	稼働時間 (h/日)	24
条	排ガス温度 (°C)	168	焼却能力 (kg/h)	1550
件	排ガス水分量 (%)	17.0	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	12.5	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定位置及びダクトの形状寸法・測定点  
煙突高  $H_0 = 25.0$  m 吐出口断面積  $A = 2.074$  m<sup>2</sup>  
測定点断面積  $A_1 = 2.074$  m<sup>2</sup>  
測定点半径  $R = 0.813$  m



単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度  
各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-22041601-2

2022年 5月 13日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年4月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	57	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	66	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	35	vol ppm	
補正濃度 *	40	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	4	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22041601 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2022年4月16日	9時53分 ~ 14時20分	
測定者名	丸山・内山・大森		
測定項目	測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 13.0 %)	0.001	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.001	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.1 %)	100	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	100	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 13.1 %)	57	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	66	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 13.1 %)	35	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	40	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度	4	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量	0.13	25.4	m <sup>3</sup> /h
実測 K値	0.09	17.5 (K値)	—
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39200	排ガス流速 (m/s)	8.5
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32500	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	168	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	17.0	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	12.5	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定条件

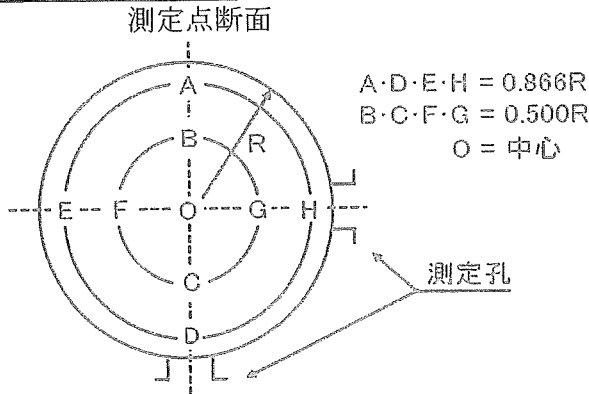
測定位置及びダクトの形状寸法・測定点

煙突高 H<sub>0</sub> = 25.0 m

吐出口断面積 A = 2.074 m<sup>2</sup>

測定点断面積 A<sub>1</sub> = 2.074 m<sup>2</sup>

測定点半径 R = 0.813 m



# 濃度計量証明書

AJ-22061001  
2022年6月15日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年6月10日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.017	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.016	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	97	vol ppm	
補正濃度 *	92	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	440	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	390	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	270	vol ppm	
補正濃度 *	230	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	190	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22061001 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2022年6月10日 11時58分 ~ 13時20分			
測定者名	丸山・大森・林			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 11.7 %)	0.017	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.016	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.5 %)	97	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	92	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 10.8 %)	440	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	390	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 10.8 %)	270	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	230	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	190	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	5.8	25.0	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	4.1	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	37700	排ガス流速 (m/s)	8.2
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30400	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	170	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	19.3	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.4	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
	測定点断面		測定点半径 R = 0.813 m	
<p>A · D · E · H = 0.866R              B · C · F · G = 0.500R              O = 中心</p>				

# 濃度計量証明書

AJ-22081901-1

2022年9月2日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年8月19日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	98	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	15未満	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	17未満	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	10未満	vol ppm	
補正濃度 *	11未満	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	5未満	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積



指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22081901 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2022年8月19日 10時11分 ~ 14時55分			
測定者名	丸山・林			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 12.8 %)	0.001	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.001	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.2 %)	98	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	100	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.8 %)	15未満	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	17未満	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.8 %)	10未満	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	11未満	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	5未満	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	0.16未満	24.9	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	0.11未満	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	37600	排ガス流速 (m/s)	8.3
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	30600	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	170	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	18.5	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	11.9	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>i</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
	測定点断面		測定点半径 R = 0.813 m	
	$A \cdot D \cdot E \cdot H = 0.866R$ $B \cdot C \cdot F \cdot G = 0.500R$ O = 中心			

# 濃度計量証明書

AJ-22081901-2

2022年9月2日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀 友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年8月19日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	2.3	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	2.3	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	1.9	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	2.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.32	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.33	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22081901 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン														
発生施設名	廃棄物焼却炉														
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13														
測定年月日・時刻	2022年8月19日 10時11分 ~ 15時02分														
測定者名	丸山・林														
測定項目	測定結果	基準値	単位												
全水銀実測濃度 (Os = 12.2 %)	2.3	—	µg/m³												
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	2.3	50	µg/m³												
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.2 %)	1.9	—	µg/m³												
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	2.0	—	µg/m³												
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.2 %)	0.32	—	µg/m³												
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	0.33	—	µg/m³												
(以下余白)															
測定条件	湿り排ガス量 (m³/h)	37600	排ガス流速 (m/s)	8.3											
	乾き排ガス量 (m³/h)	30600	稼働時間 (h/日)	24											
	排ガス温度 (°C)	170	焼却能力 (kg/h)	1550											
	排ガス水分量 (%)	18.5	炉容積 (m³)	—											
	排ガス酸素濃度 (%)	11.9	硫黄分 (%)	—											
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 (%)	—											
	窒素分 (%)	—	窒素分 (%)	—											
	水分 (%)	—	水分 (%)	—											
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m²												
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m²												
		測定点半径 R = 0.813 m													
	<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>		単位 : µg/m³												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>検出下限</th> <th>定量下限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>粒子状水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>全水銀</td> <td>0.03</td> <td>0.10</td> </tr> </tbody> </table>			検出下限	定量下限	ガス状水銀	0.03	0.10	粒子状水銀	0.03	0.10	全水銀	0.03	0.10	
	検出下限	定量下限													
ガス状水銀	0.03	0.10													
粒子状水銀	0.03	0.10													
全水銀	0.03	0.10													
	<p>全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度</p> <p>各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。</p> <p>各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。</p>														

# 濃度計量証明書

AJ-22101501  
2022年10月21日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年10月15日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	370	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	340	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	220	vol ppm	
補正濃度 *	210	vol ppm	
硫黄酸化物	150	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

## 指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22101501 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン				
発生施設名		廃棄物焼却炉				
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13				
測定年月日・時刻		2022年10月15日		9時43分 ~ 11時20分		
測定者名		丸山・内山				
測定項目		測定結果		基準値		
ばいじん実測濃度 (Os = 10.8 %)		0.001未満		—		
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001未満		0.15		
窒素酸化物実測濃度 (Os = 10.8 %)		110		—		
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100		250		
塩化水素実測濃度 (Os = 11.3 %)		370		—		
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		340		700		
塩化水素実測濃度 (Os = 11.3 %)		220		—		
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		210		—		
硫黄酸化物濃度		150		—		
硫黄酸化物排出量		4.4		23.9		
実測 K値		3.2		17.5 (K値)		
(以下余白)						
測定条件	湿り排ガス量 (m³/h)	36400	排ガス流速 (m/s)	7.8		
	乾き排ガス量 (m³/h)	28800	稼働時間 (h/日)	24		
	排ガス温度 (°C)	164	焼却能力 (kg/h)	1550		
	排ガス水分量 (%)	20.9	炉容積 (m³)	—		
	排ガス酸素濃度 (%)	12.5	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)	— (%)	
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)	— (%)	
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積A = 2.074 m²		
				測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m²		
				測定点半径 R = 0.813 m		
		測定点断面				

# 濃度計量証明書

AJ-22121601-2

2022年12月27日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年12月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	3.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	3.6	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	2.6	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	2.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.90	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.91	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

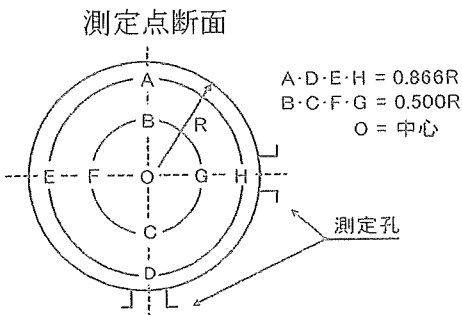
指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22121601 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2022年12月16日		9時34分 ~ 14時19分
測定者名	丸山・林・鈴木(奎)		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	3.5	—	μg/m <sup>3</sup>
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	3.6	50	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	2.6	—	μg/m <sup>3</sup>
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	2.7	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.1 %)	0.90	—	μg/m <sup>3</sup>
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	0.91	—	μg/m <sup>3</sup>
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	35700	排ガス流速 (m/s)	7.7
乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	28400	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	164	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	20.3	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
排ガス酸素濃度 (%)	12.2	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定位置及びダクトの形状寸法・測定点  
 煙突高 H<sub>0</sub> = 25.0 m  
 吐出口断面積 A = 2.074 m<sup>2</sup>  
 測定点断面積 A<sub>1</sub> = 2.074 m<sup>2</sup>  
 測定点半径 R = 0.813 m



単位 : μg/m<sup>3</sup>

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度  
 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-22121601-1  
2022年12月27日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤 紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2022年12月16日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.003	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.003	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	78	vol ppm	
補正濃度 *	79	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	180	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	220	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	140	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	8	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup> : 0℃、101.32kPaにおける体積



指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 22121601 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2022年12月16日 9時34分 ~ 14時15分		
測定者名		丸山・林・鈴木(奎)		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 12.2 %)		0.003	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.003	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.1 %)		78	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		79	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 13.6 %)		180	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		220	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 13.6 %)		110	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		140	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		8	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		0.23	23.7	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		0.17	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	35700	排ガス流速 (m/s)	7.7
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	28400	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	164	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	20.3	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	12.2	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
<p>測定点断面</p> <p>A・D・E・H = 0.866R B・C・F・G = 0.500R O = 中心</p>				

# 濃度計量証明書

AJ-21022701  
2021年3月9日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年2月27日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	120	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	140	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	170	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	88	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	13	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 21022701 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名		廃棄物焼却炉			
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻		2021年2月27日 13時53分 ~ 15時23分			
測定者名		甚内・岡本			
測定項目		測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 13.0 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.002未満	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 12.9 %)		110	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		120	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.7 %)		140	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		170	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 13.7 %)		88	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		100	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度		13	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量		0.42	25.2	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値		0.29	17.5 (K値)	—	
(以下余白)					
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38300	排ガス流速 (m/s)	8.3	
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	31800	稼働時間 (h/日)	24	
	排ガス温度 (°C)	170	焼却能力 (kg/h)	1550	
	排ガス水分量 (%)	16.9	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—	
	排ガス酸素濃度 (%)	13.3	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)	
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)	
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m		
	測定点断面		<p>A・D・E・H = 0.866R B・C・F・G = 0.500R O = 中心</p>		
			測定孔		

# 特定濃度計量証明書

AD-21042401 (1/2)

2021年 5月24日

株式会社 ジャパンクリーン

様



特定計量証明事業認定番号 N-0063-01

特定計量証明事業登録番号 第41044号

事業者名 株式会社 環境生物化学研究所

事業所名 株式会社 環境生物化学研究所

環境センター

栃木県那須郡那珂川町北向田231-2

電話番号 0287(92)5723

環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号

野澤紀友

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年4月24日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ダイオキシン類	実測濃度 4.7	ng/m <sup>3</sup>	JIS K 0311(2020)
	補正濃度 * 4.2	ng/m <sup>3</sup>	
	毒性等量 * 0.043	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

# 濃度計量証明書

AJ-21042401-3

2021年 5月24日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年4月24日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	2.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	2.2	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	2.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	2.2	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
、 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。



# 濃度計量証明書

AJ-21042401-2

2021年5月24日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 5946号  
望月 康 広

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年4月24日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	120	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	170	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	130	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	100	vol ppm	
補正濃度 *	84	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	49	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 21042401 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名		廃棄物焼却炉		
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻		2021年4月24日 10時05分 ~ 14時40分		
測定者名		岡本・丸山・大森		
測定項目		測定結果	基準値	単位
ばいじん実測濃度 (Os = 10.7 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>
窒素酸化物実測濃度 (Os = 11.0 %)		120	—	vol ppm
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100	250	vol ppm
塩化水素実測濃度 (Os = 9.5 %)		170	—	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		130	700	mg/m <sup>3</sup>
塩化水素実測濃度 (Os = 9.5 %)		100	—	vol ppm
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		84	—	vol ppm
硫黄酸化物濃度		49	—	vol ppm
硫黄酸化物排出量		1.5	25.4	m <sup>3</sup> /h
実測 K値		1.0	17.5 (K値)	—
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39300	排ガス流速 (m/s)	8.5
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32400	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	168	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	17.6	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	14.1	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>
			測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
			測定点半径 R = 0.813 m	
<p>測定点断面</p> <p>A · D · E · H = 0.866R          B · C · F · G = 0.500R          O = 中心</p>				



# 濃度計量証明書

AJ-21062301  
2021年6月25日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年6月23日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.003	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	110	vol ppm	
補正濃度 *	95	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	260	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	220	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	160	vol ppm	
補正濃度 *	130	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	88	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0℃、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 21062301 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2021年6月23日		9時59分 ~ 11時55分	
測定者名	丸山・大森・鈴木(奎)			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 10.4 %)	0.003	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.002	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 10.5 %)	110	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	95	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 10.6 %)	260	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	220	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 10.6 %)	160	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	130	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	88	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	2.7	25.4	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	1.9	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38100	排ガス流速 (m/s)	8.4
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	31300	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	173	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	17.8	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	13.9	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m		吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup>
				測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
				測定点半径 R = 0.813 m
		<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>		

# 濃度計量証明書

AJ-21082001-1

2021年 8月24日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

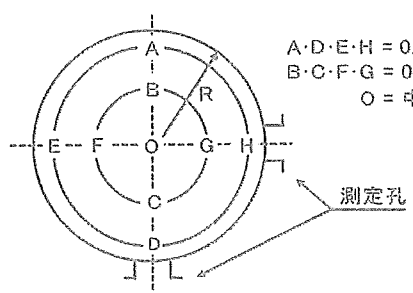
事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年8月20日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.002未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	88	vol ppm	
補正濃度 *	100	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	120	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	120	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	75	vol ppm	
補正濃度 *	78	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	69	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 21082001 - 1/7

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名		廃棄物焼却炉			
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻		2021年8月20日 9時55分 ~ 12時25分			
測定者名		丸山・大木・鈴木(奎)			
測定項目		測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 13.3 %)		0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)		0.002未満	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 13.1 %)		88	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)		100	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.3 %)		120	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		120	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 12.3 %)		75	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)		78	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度		69	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量		2.1	24.8	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値		1.5	17.5 (K値)	—	
(以下余白)					
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	36900	排ガス流速 (m/s)	8.0	
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	31600	稼働時間 (h/日)	24	
	排ガス温度 (°C)	172	焼却能力 (kg/h)	1550	
	排ガス水分量 (%)	14.6	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—	
	排ガス酸素濃度 (%)	14.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)	
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)	
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点		煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup>	
				測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>	
				測定点半径 R = 0.813 m	
	測定点断面		 <p> <math>A \cdot D \cdot E \cdot H = 0.866R</math>  <math>B \cdot C \cdot F \cdot G = 0.500R</math>                      O = 中心                      測定孔                 </p>		

# 濃度計量証明書

AJ-21082001-2

2021年9月1日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年8月20日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	6.0	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	6.5	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	5.3	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	5.8	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	0.64	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	0.69	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0°C、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ-21082001 - 1/4

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン		
発生施設名	廃棄物焼却炉		
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13		
測定年月日・時刻	2021年8月20日	9時55分 ~ 17時04分	
測定者名	丸山・大木・鈴木(奎)		
測定項目	測定結果	基準値	単位
全水銀実測濃度 (Os = 12.7 %)	6.0	—	µg/m³
全水銀補正濃度 (On = 12 %)	6.5	50	µg/m³
ガス状水銀実測濃度 (Os = 12.7 %)	5.3	—	µg/m³
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)	5.8	—	µg/m³
粒子状水銀実測濃度 (Os = 12.7 %)	0.64	—	µg/m³
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)	0.69	—	µg/m³
(以下余白)			

湿り排ガス量 (m³/h)	36900	排ガス流速 (m/s)	8.0
乾き排ガス量 (m³/h)	31600	稼働時間 (h/日)	24
排ガス温度 (°C)	172	焼却能力 (kg/h)	1550
排ガス水分量 (%)	14.6	炉容積 (m³)	—
排ガス酸素濃度 (%)	14.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)

測定位置及びダクトの形状寸法・測定点

煙突高  $H_0 = 25.0$  m      吐出口断面積  $A = 2.074$  m²  
 測定点断面積  $A_1 = 2.074$  m²  
 測定点半径  $R = 0.813$  m

測定点断面

A·D·E·H = 0.866R  
 B·C·F·G = 0.500R  
 O = 中心

測定孔

単位: µg/m³

	検出下限	定量下限
ガス状水銀	0.03	0.10
粒子状水銀	0.03	0.10
全水銀	0.03	0.10

全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度  
 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。

# 濃度計量証明書

AJ-21101501  
2021年10月22日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第 3200号  
野澤紀友

貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年10月15日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
ばいじん			JIS Z 8808(円筒ろ紙法)
実測濃度	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	0.001未満	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物			JIS K 0104(化学発光方式)
実測濃度	95	vol ppm	
補正濃度 *	71	vol ppm	
塩化水素			JIS K 0107(イオンクロマトグラフ法)
実測濃度	230	mg/m <sup>3</sup>	
補正濃度 *	180	mg/m <sup>3</sup>	
実測濃度	140	vol ppm	
補正濃度 *	110	vol ppm	
硫黄酸化物 (以下余白)	220	vol ppm	JIS K 0103(イオンクロマトグラフ法)

備考：\*計量法第107条における計量証明の対象外  
m<sup>3</sup>：0°C、101.32kPaにおける体積

指定物質濃度等測定結果報告書

計量証明番号 AJ - 21101501 - 1/7

発生施設事業所名	株式会社 ジャパンクリーン			
発生施設名	廃棄物焼却炉			
発生施設種類	大気汚染防止法施行令別表第1-13			
測定年月日・時刻	2021年10月15日		10時00分 ~ 11時55分	
測定者名	丸山・鈴木(奎)			
測定項目	測定結果	基準値	単位	
ばいじん実測濃度 (Os = 8.7 %)	0.001未満	—	g/m <sup>3</sup>	
ばいじん補正濃度 (On = 12 %)	0.001未満	0.15	g/m <sup>3</sup>	
窒素酸化物実測濃度 (Os = 9.0 %)	95	—	vol ppm	
窒素酸化物補正濃度 (On = 12 %)	71	250	vol ppm	
塩化水素実測濃度 (Os = 9.6 %)	230	—	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	180	700	mg/m <sup>3</sup>	
塩化水素実測濃度 (Os = 9.6 %)	140	—	vol ppm	
塩化水素補正濃度 (On = 12 %)	110	—	vol ppm	
硫黄酸化物濃度	220	—	vol ppm	
硫黄酸化物排出量	6.2	25.5	m <sup>3</sup> /h	
実測 K値	4.3	17.5 (K値)	—	
(以下余白)				
測定条件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	38800	排ガス流速 (m/s)	8.5
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	28300	稼働時間 (h/日)	24
	排ガス温度 (°C)	171	焼却能力 (kg/h)	1550
	排ガス水分量 (%)	27.1	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—
	排ガス酸素濃度 (%)	10.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m	吐出口断面積 A = 2.074 m <sup>2</sup>	測定点断面積 A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup>
		測定点半径 R = 0.813 m		
	<p>測定点断面</p> <p>A·D·E·H = 0.866R B·C·F·G = 0.500R O = 中心</p> <p>測定孔</p>			



# 濃度計量証明書

AJ-21121401-2  
2021年12月21日

株式会社 ジャパンクリーン

様



計量証明事業登録 栃木 第4271号  
事業者名 株式会社 環境生物化学研究所  
事業所名 株式会社 環境生物化学研究所  
環境センター  
栃木県那須郡那珂川町北向田231-2  
電話番号 0287(92)5723  
環境計量士(濃度関係) 登録第3200号  
野澤 紀 友

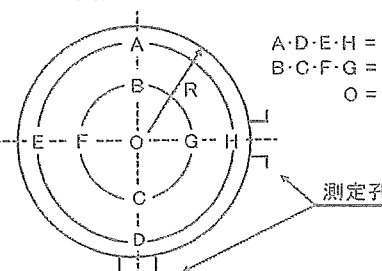
貴ご依頼を受けました排出ガス中の物質について計量した結果を下記の通り証明いたします。

事業所名	株式会社 ジャパンクリーン
住所	群馬県館林市近藤町712番地1
施設名	廃棄物焼却炉
測定年月日	2021年12月14日

計量の対象	計量結果	単位	計量方法
全水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度 *	5.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
補正濃度 *	5.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
ガス状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	5.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	5.7	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
粒子状水銀			平成28年環境省告示第94号
実測濃度	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	(還元気化原子吸光分析法)
補正濃度 *	ND	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
(以下余白)			

備考： \*計量法第107条における計量証明の対象外  
 $\text{m}^3$ ：0℃、101.32kPaにおける体積  
計量結果欄の括弧付きの数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
計量結果欄の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

指定物質濃度等測定結果報告書

発生施設事業所名		株式会社 ジャパンクリーン													
発生施設名		廃棄物焼却炉													
発生施設種類		大気汚染防止法施行令別表第1-13													
測定年月日・時刻		2021年12月14日 9時50分 ~ 15時05分													
測定者名		内山・大森・林													
測定項目		測定結果	基準値	単位											
全水銀実測濃度 (Os = 11.9 %)		5.7	—	µg/m <sup>3</sup>											
全水銀補正濃度 (On = 12 %)		5.7	50	µg/m <sup>3</sup>											
ガス状水銀実測濃度 (Os = 11.9 %)		5.7	—	µg/m <sup>3</sup>											
ガス状水銀補正濃度 (On = 12 %)		5.7	—	µg/m <sup>3</sup>											
粒子状水銀実測濃度 (Os = 11.9 %)		ND	—	µg/m <sup>3</sup>											
粒子状水銀補正濃度 (On = 12 %)		ND	—	µg/m <sup>3</sup>											
(以下余白)															
測 定 条 件	湿り排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	39400	排ガス流速 (m/s)	8.5											
	乾き排ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	32800	稼働時間 (h/日)	24											
	排ガス温度 (°C)	164	焼却能力 (kg/h)	1550											
	排ガス水分量 (%)	16.7	炉容積 (m <sup>3</sup> )	—											
	排ガス酸素濃度 (%)	10.6	硫黄分 — (%)	窒素分 — (%)											
	排ガス静圧 (kPa)	0.1	水素分 — (%)	水分 — (%)											
	測定位置及びダクトの形状寸法・測定点	煙突高 H <sub>0</sub> = 25.0 m 吐出口断面積A = 2.074 m <sup>2</sup> 測定点断面積A <sub>1</sub> = 2.074 m <sup>2</sup> 測定点半径 R = 0.813 m													
			単位 : µg/m <sup>3</sup>												
	<table border="1"><tr><td></td><td>検出下限</td><td>定量下限</td></tr><tr><td>ガス状水銀</td><td>0.03</td><td>0.10</td></tr><tr><td>粒子状水銀</td><td>0.03</td><td>0.10</td></tr><tr><td>全水銀</td><td>0.03</td><td>0.10</td></tr></table>					検出下限	定量下限	ガス状水銀	0.03	0.10	粒子状水銀	0.03	0.10	全水銀	0.03
	検出下限	定量下限													
ガス状水銀	0.03	0.10													
粒子状水銀	0.03	0.10													
全水銀	0.03	0.10													
全水銀濃度 = ガス状水銀濃度 + 粒子状水銀濃度 各水銀濃度欄の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。 各水銀濃度欄の“ND”は検出下限未満であることを示す。															